

出生数、死亡数、婚姻・離婚件数等の前年比較（福岡県）

	実 数			率 1)		平均発生間隔	
	平成30年	平成29年	対前年増減	平成30年	平成29年	平成30年	平成29年
						時 分 秒	時 分 秒
出 生	42,008	43,438	-1,430	8.3	8.6	12' 31"	12' 06"
男	21,436	22,138	-702	9.0	9.3	24' 31"	23' 45"
女	20,572	21,300	-728	7.7	8.0	25' 32"	24' 41"
死 亡	53,309	52,530	779	10.6	10.4	9' 52"	10' 00"
男	26,487	26,332	155	11.1	11.0	19' 50"	19' 58"
女	26,822	26,198	624	10.1	9.8	19' 35"	20' 04"
(再掲) 乳児死亡	89	78	11	2.1	1.8	98 : 25' 37"	112 : 18' 28"
新生児死亡	49	39	10	1.2	0.9	178 : 46' 32"	224 : 36' 55"
自 然 増 減	-11,301	-9,092	-2,209	-2.2	-1.8		
死 産	955	1,073	-118	22.2	24.1	9 : 10' 22"	8 : 09' 50"
自然死産	409	470	-61	9.5	10.7	21 : 25' 05"	18 : 38' 18"
人工死産	546	603	-57	12.7	13.7	16 : 02' 38"	14 : 31' 39"
周産期死亡	148	163	-15	3.5	3.7	59 : 11' 21"	53 : 44' 32"
妊娠満22週以後の死産	110	134	-24	2.6	3.1	79 : 38' 11"	65 : 22' 23"
早期新生児死亡	38	29	9	0.9	0.7	230 : 31' 35"	302 : 04' 08"
婚 姻	25,265	25,887	-622	5.0	5.1	20' 48"	20' 18"
離 婚	9,624	9,606	18	1.9	1.90	54' 37"	54' 43"

	平成30年	平成29年
合計特殊出生率2)	1.49	1.51
年齢調整死亡率3) 男	4.7	4.8
女	2.4	2.5

- 注1) 出生・死亡・自然増加・婚姻・離婚率は人口千対、乳児・新生児・早期新生児死亡率は出生千対、死産率は出産（出生＋死産）千対、周産期死亡・妊娠満22週以後の死産率は出産（出生＋妊娠満22週以後の死産）千対である。
- 2) 合計特殊出生率とは、15歳から49歳までの女子の年齢別出生率を合計したもので、1人の女子が仮にその年次の年齢別出生率で一生の間に生むとしたときの子ども数に相当する。
- 3) 年齢調整死亡率（人口千対）は、人口構成の異なる集団間での死亡率を比較するために、年齢階級別死亡率を一定の基準人口（昭和60年モデル人口）にあてはめて算出した指標である。